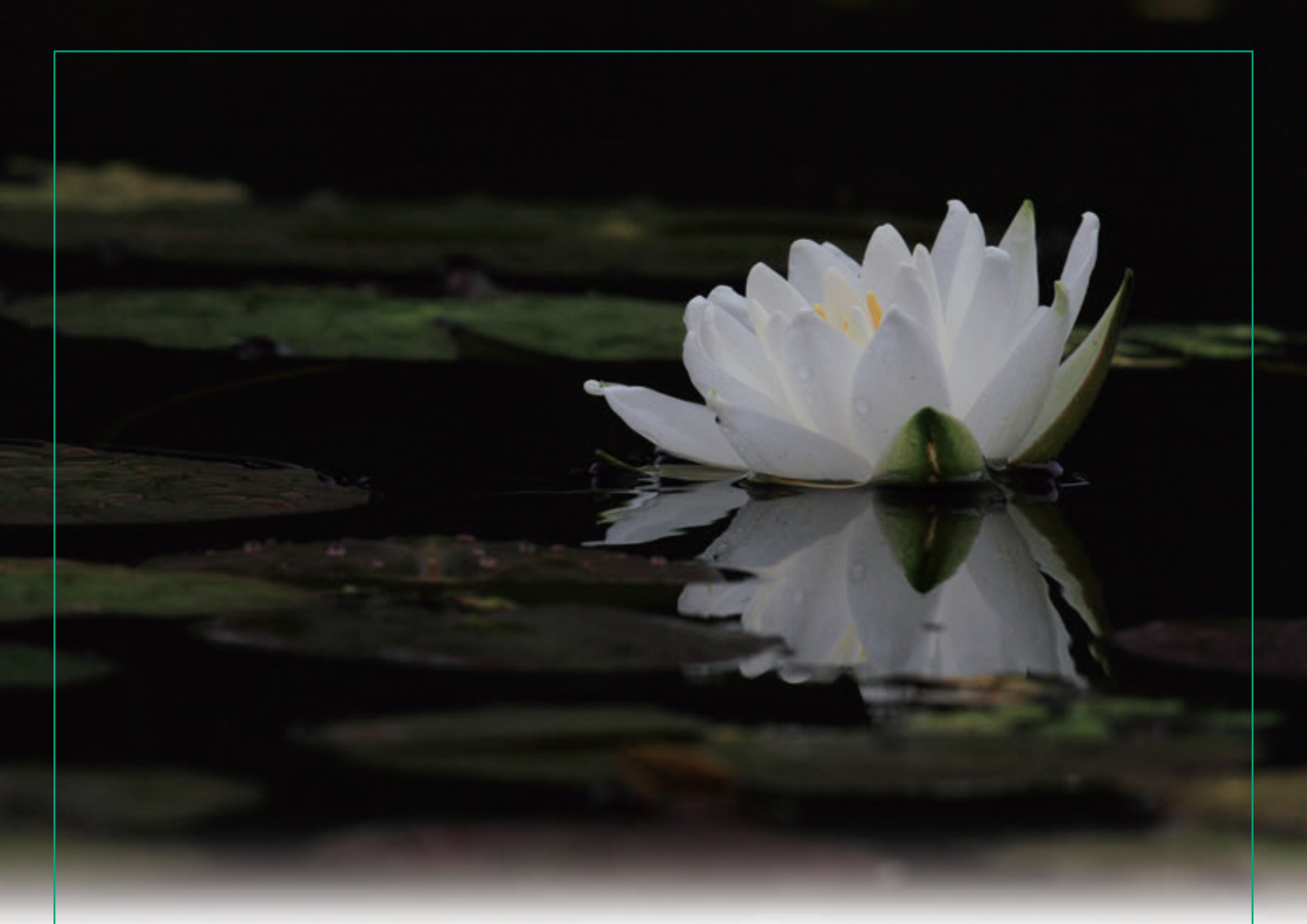




道 歯 技 広 報

The Bulletin of the Hokkaido Dental Technologists Association

2015 Summer No.4

Contents

- 巻頭言「新任のあいさつ」
- 学術「歯科技工士のやりがいと職場環境について」、「どうして歯周病になるの？」
- お知らせ：会員研究発表の募集、第145回歯科技工学術研修会
歯科技工用語手話研修会『見える話～歯科技工における手話～』
公益社団法人 北海道歯科技工士会 役員名簿
- 第2回社員総会開催報告、見える話、新入会員の紹介
- 理事会報告

PC用ホームページ <http://www.dougi.or.jp/top.html>

携帯用ホームページ <http://www.dougi.or.jp/keitai.html>

巻頭言

『新任のあいさつ』



公益社団法人 北海道歯科技工士会 会長 八重樫新一

日頃より本会運営にご理解ご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。

先般、平成27年5月9日の第2回社員総会の決議により理事として承認され、その後理事会において会長として選任されました。その重責に「身」の引き締まる思いであります。

前任の杉岡会長は、8年前に中長期総合計画、「道技未来創造プラン」のテーマとして掲げた、北海道における歯科技工士の懸案解決の社会的窓口である本会を如何なることにも対応できる組織にするためにハードとソフト両面で補強し、盤石な組織体制を構築されました。また、その間4年に亘り上部組織であります日技の役員も兼務されての事業推進でしたので、その厳しい状況の中での会務執行にあらためて敬意を表したいと思います。

私が事業推進を行うにあたり、第2回社員総会における活動方針にある

1. 公益社団法人としての堅実な会務運営
2. 地域歯科技工士会と連携した組織拡充の実行
3. 歯科技工士の環境整備に向けた活動

この3点の題目に添って活動を行っていきますが、その中でも「地域歯科技工士会と連携した組織拡充の実行」について、歯科技工士の懸案は歯科技工士が解決する原点に立ち返り、国家資格を有した歯科技工士として社会に貢献する義務を自負し、利己主義に走る事なく日々技術向上に向けて進まなければならないと考えております。その事を行うためには、歯科技工士会の会員として学術研修等に積極的に参加し自己研鑽を行うことが1番の近道と考えます。又、少子化によ

り18歳人口が減少し、次世代の歯科技工士を目指す若者の減少が危惧されますが、現在この職業に携わり会員として活躍されている方たちが誇りと使命感・危機感を持ち組織増強を行う事が、最重要課題と考え「深謀遠慮」を心に刻み取り組んでいく所存であります。そのためには、地域歯科技工士会との連携を取り、「一致団結」して取り組む事が必要と考えております。今後においてご理解ご協力を切にお願い致します。

今年は、「歯科技工士法制定並びに北海道歯科技工士会創立60周年」の節目であり、60年の歴史に思いを馳せ記念祝賀会を11月に行いたいと思います。「温故知新」を胸に当時たいへん苦労して本会を創立された先達の偉業に感謝し組織の更なる発展の年にしたいと思います。



歯科技工士のやりがいと 職場環境について

札幌歯科技工士会 札幌デンタル・ラボラトリー／DT ソリューション部 植田 歩

平成27年1月17日に行われました「第59回北海道歯科技工学会大会」にて、表題の内容で発表させて頂きました。300名を超える多くの方の前でお話させていただき、さらに世界で活躍されている先生方と同じ場所で発表させていただいたことは、私にとって貴重な経験になったと感じております。発表に際して会社はもちろん周囲の方々にもご協力いただき、心より感謝しております。

今回の発表は、今私たちが置かれている環境を把握する所から始まりました。様々なデータを調べた中で、労働人口が年々減少傾向にあることは一目瞭然で、歯科技工業界も例外なく同様の傾向にあることを発表の中でお話させていただきました。そして私たちがどのように行動していくことが業界の繁栄に繋がっていくのかと考えた際に、やはり「長時間労働」「低賃金」「休日問題」「5年以内の離職率が75%」などのマイナスのイメージを、私達歯科技工士の手で変えていくことがポイントになっていくように思います。



私は実際に一度この業界を離れました。歯科技工の仕事が嫌いで辞めた訳ではなかったのかもしれませんが、離れて異業種を見てきた中で、歯科技工士はやりがいのある仕事であると改めて実感しました。しかし、業界全体を見ますと単価を下げ、時間を犠牲にして製作する事が、結果として業界全体を苦しめている要因になっています。本講演の中でも「自身のスキルアップにより製品の価値を高め、患者さんや得意先の満足を獲得し、持っている技術に対する対価を得ることが本来の形である」という内容を発表させて頂きましたが、私達にとってここが本当に重要な課題であると思っています。

卒後5年以内の離職率

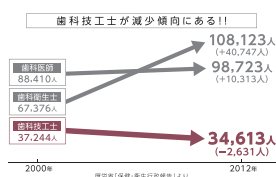
75%

4人のうち3人が、5年以内に辞めている!!

むし歯で歯を削ったり、抜かなければならなくなった時に失った部分を補うための義歯(入れ歯など)を作るのが歯科技工士です。

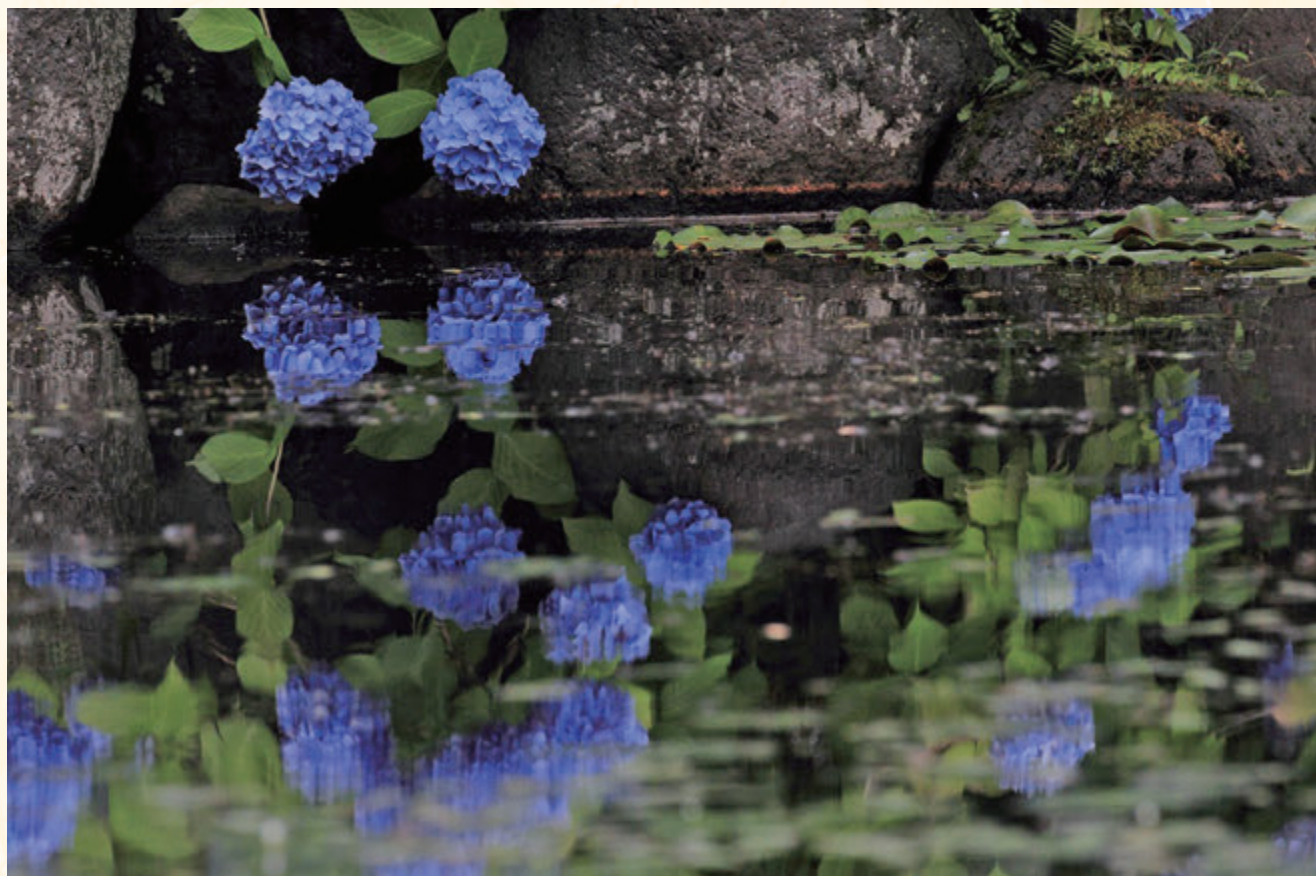
歯科技工士は、歯科医院には欠かせない職業ですが、20~25歳未満の離職率は約8割とされています。日本歯科技工士会の調べ(2007年)では、卒後5年以内の離職率が75%に上っています。2000年から見ると歯科医師、歯科衛生士は増えていますが、歯科技工士は2,500人以上も減っています。

このままでは、私たちの義歯(入れ歯など)を作る歯科技工士が不足してしまいます。



また、学生も含め女性歯科技工士が増加傾向にあるということは事実です。その現状をうまく取り込んでいくことができれば、業界全体が働きやすい環境に近づいていけるように思います。実際に私の働いている会社では女性歯科技工士の割合が46%を占め、現在産休を利用している社員もいます。

元々男性が活躍してきた歯科技工業界ですが、女性が生き活きと活躍できる環境になれば、男性にも張り合いが持てる環境になり、業界全体が益々活性することで、やりがいや目標をもてる職業になるはずです。そして、将来を担う若者にイキイキと働く歯科技工士の姿を見せることができれば、この業界の未来は明るくなっていくのではないかと考えます。

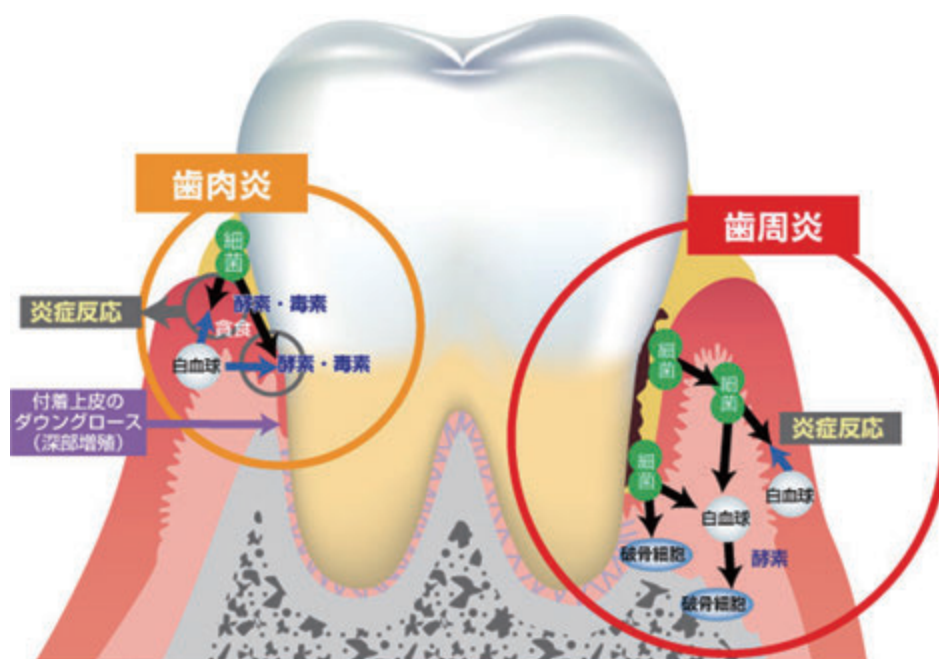


『どうして歯周病になるの？』

プラーク中の細菌から生体を守る炎症反応

私たちの体は、細菌など異物が体内に侵入したり毒素が産生されたりすると、その異物を排除しようと反応します。これが「炎症反応」です。これにより、体内に侵入した病原体や毒素が広がらないようにします。

しかし、この反応が過剰に起こると、組織の破壊をもたらす痛みなども悪化する場合があります。歯周病にもこの炎症反応のメカニズムがあてはまります。



プラーク中の細菌が歯肉に接触すると、細菌という異物を排除するための反応、すなわち「炎症」が起こります。これが歯肉炎の始まりです。

この時点ではよほどのことがないかぎり、適切なクリーニングと管理により炎症は治まります。しかし、適切なクリーニングも行なわれず不衛生な状態が続いたりすると、細菌は歯根に沿ってより深部に侵入し、炎症を広げ、毒素を出し、歯周組織を破壊していきます。こうして見えないところで、静かに細菌は私たちの組織の中に入り込み、健康な状態から歯肉炎、そして歯周炎へと進行させていくのです。

細菌と抵抗力、そのほかの要因

歯周病は特定の細菌により引き起こされる感染症です。その細菌を媒介するのがプラーク（歯垢）です。

プラークとは細菌の塊です。プラークの中に、むし歯の原因菌も歯周病の原因菌も存在しています。

むし歯同様、歯の周りにこのプラークが付いていないこと、あるいは歯石が付いていないことが歯周病の予防には重要です。

しかし、歯周病の発症や進行にはそれ以外の要素も大きく関わっています。

上に述べたように、歯周病の発症や進行には、炎症という免疫応答の作用が関わっています。そのため私たちの生体としての免疫力がその進行や発症に関与します。糖尿病のような持病があったり、また他の疾患や疲労、ストレスなどで免疫力が低下していたりすると、進行・悪化しやすいのです。体調の悪いときに限って、歯肉が痛んだりしたことはありませんか？

特に糖尿病については、免疫機能以外の諸症状も歯周病のリスク因子になるものが多く、また歯周病原菌が糖尿病を悪化させるリスク因子になることもわかってきており、その関連性は注目されています。(MI21.net)

お知らせ

● ● 会員研究発表の募集 ● ●

下記の学術大会での会員研究発表を募集します。

「第60回 北海道歯科技工学術大会」 場所：北見市 期日：平成27年10月3日(土)予定

「第61回 北海道歯科技工学術大会」 場所：北広島市 期日：平成28年9月24日(土)予定

講演料（五千円） 広報掲載原稿料（五千円）

お問い合わせ

〒001-0037 札幌市北区北37条西4丁目3-8 公益社団法人北海道歯科技工士会 TEL 011 (717) 7155

● ● 第145回歯科技工学術研修会 ● ●

日 時：平成27年9月12日(土) 13時～17時

会 場：室蘭プリンスホテル（室蘭市中央町1丁目4-9）

講演Ⅰ テーマ：「これからの未来へ『想像と創造』」（仮）

講 師：袁輪雅宏（日技認定講師）

講演Ⅱ テーマ：「臨床的に歯牙形態を捉える！～インレー補綴から大型補綴装置に至るまで～」

講 師：高瀬 直（㈲デンタル・ラボア・グロース）

参加費 1,000円

● ● 歯科技工用語手話研修会 ● ● 『見える話～歯科技工における手話～』

手話は知らないが歯科の知識はある方または手話は知っているが歯科技工の手話については知らない方あるいは両者に興味のある方、見える言葉でお互いの世界を共に広げませんか。

平成27年10月から平成29年3月まで毎月1～2回開催の予定です。

なお、詳しい日時・場所などは、当会事務所にお問い合わせください。

日 時：①平成27年10月17日(土)19時～20時30分

②平成27年10月31日(土)19時～20時30分

場 所：北海道歯科技工士会館

主 催：公益社団法人北海道歯科技工士会

協 力：北海道デフ歯科技工士協議会

内 容：歯科技工の専門用語を交えた手話での会話（基礎編）

申込み方法

①締切日：開催日の10日前まで（早目にいただけるとありがたいです）

②氏名（ふりがなをつける事）・住所・電話番号

③対象者（歯科技工士・歯科関係者・歯科技工や手話に興味関心のある方）

④問い合わせ・連絡先

公益社団法人北海道歯科技工士会 工藤

FAX (011) 717-6954

● ● 公益社団法人 北海道歯科技工士会 役員名簿 ● ●

(任期 平成27年6月1日から平成29年5月開催予定の定時社員総会の終結のときまで)

平成27年5月9日以降

役 職	担 当	氏 名	所 属
会 長	統 轄	八重樫新一	札幌
副 会 長	生涯研修	戸島 和之	空知
副 会 長	総務・法規	渋川 充	苫小牧
副 会 長	組織管理	古田 都彦	苫小牧
専務理事	事務局総括	扇 照幾	岩見沢
常務理事	委託歯科技工	山本 英樹	空知
常務理事	広 報	堀江 成達	札幌
常務理事	財 務	村上 正芳	札幌
常務理事	組織管理	工藤三重子	札幌
常務理事	就 労 対 策	西川 圭吾	札幌
理 事		長口 睦好	釧路
理 事		濱本 範俊	札幌
監 事		岡本 誠二	札幌
監 事		大澤 孝	札幌
監 事		川端 忠範	札幌
相 談 役		三國 信樹	札幌
顧 問		奥村 厚史	札幌
顧 問		嘉村 正	北見
顧 問		石原 定典	千歳

● ● 第2回社員総会開催報告 ● ●

専務理事 扇 照幾

平成27年5月9日(土)午後1時より北海道歯科技工士会館において、第2回社員総会が開催された。植田副議長の氏名点呼の後、代議員の過半数の出席がある旨の報告の後、板野議長から開会宣言が行われた。

議事録署名人には、札幌歯科技工士会 森代議員、小樽歯科技工士会 太田代議員の両名が指名され決定した。その後、物故会員に対して冥福を祈り黙祷が捧げられた。

議長は議事運営委員会委員長報告を促し、道垣内議事運営委員会委員長より第3号議案の理事及び監事選任承認を報告事項終了後に行う旨と、会議進行についての説明ならびに協力要請があった。

続いて杉岡会長による挨拶があり、先達は今日の前身である『北海道歯科技工士会』を誕生させ、今ここに社会に認められ道民にとって有益な『公益社団法人』として成長してきた。そこには『道技未来創造プランI』の達成がなされた事にあり、改めて役員と事務職員、そして代議員の皆様と会員の皆様の寛大な心のお陰であると述べられた。

続いて執行部より一般会務報告が行われた。扇専務理事より、一般会務報告及び平成26年度各部事業報告(生涯研修部・委託歯科技工部・広報部・総務部・財務部・法規部・就労対策部)について報告が行われた。平成26年度も医療技術者団体として生涯研修事業

の充実に努め、聴覚障がいを持つ歯科技工士の自己研鑽に寄与した実技研修会を実施した。診療報酬・CAD／CAM冠導入・消費税等に関して正確な情報の普及啓蒙活動、公益社団法人としての管理事業を遂行するための各種運営マニュアルの作成、歯科技工士学生の就職にあたり歯科技工界の現状と社会人としてのマナーを啓蒙するガイダンスの実施等の総括報告が行われた。

続いて執行部より議案の上程が行われた。「第1号議案 平成26年度事業経過報告承認の件」が上程され、資料に沿って経過報告が行われた。併せて「第2号議案 平成26年度会計収支決算承認の件」の上程を財務部の佐々木常務理事より資料を参照し詳細に報告され、末岡監事より監事監査報告が行われた。第1号議案、第2号議案に対する質疑応答の後、賛成多数で承認された。

続いて、第4号議案 役員選挙規定一部改正承認の件について嘉村副会長より議案説明があり、全会一致賛成多数で承認された。

その他「地域歯科技工士会提出質問要望事項に入り、会費減額について、道技会費改定案について、歯科技工所管理者講習会の開催について、社員総会資料の早急な送付依頼について、メーカーによるラボ化の現状について、無資格者の労働実態が確認された場合の対処方法について、札幌市保健所における就労者実態報告の是正処置に対する要望等について質疑応答があった。

10分間休憩の後、日技生涯研修終了証授与式が行われ、玉井氏が代表して狩野副会長より終了証が渡された。

その後、協議事項に入り、組織拡充についてプレゼンテーションによる説明が行われた。続けて「道技未来創造プランⅡについて」、「道技創立60周年記念式典・祝賀会について」の説明があった。

その後、報告事項に入り、執行部から説明の後、質疑応答が行われた。

「平成27年度事業計画・予算について」、「平成27年度活動方針について」、「平成27年度収支予算について」、「平成27年度事業日程（案）について」、「平成26年度第1回実務代表者会議報告について」等、報告があった。

最後に「第3号議案の理事及び監事選任承認の件」が上程された後、執行部を代表して杉岡会長より退任の挨拶があった。その後、役員選挙管理委員の進行の

下、役員選挙に入った。

立候補者入場後、議場閉鎖が宣言され、海津役員選挙管理委員長より経過報告及び選挙方法が発表された。理事、監事候補者演説の後、立候補者が一時退席し、挙手による承認を議場に諮り立候補者全員の当選が承認された。その後、当選者への当選証書の授与を委員長より当選者に授与された。新役員が決定して第2回社員総会が終了した。

社員総会が終了後、別室において新役員により理事会が開催され、理事会決議により八重樫新一氏が会長に就任した。理事会終了後、社員総会会場へと戻った新執行部を代表し、八重樫会長が理事会報告を行うとともに決意表明を述べ、代議員も拍手をもってこれに応えた。



● ● 見える話 ● ●

常務理事 工藤三重子

「歯科技工に関わる手話」

手話は同じ言葉でも表現が違ふことが多くあります。例えば「臼歯」では小臼歯と大臼歯の総称で使う

場合や、頬側・近遠心・咬合面の5面を有する1本の臼歯を意味する場合というように使い分けします。

1. 前歯（表現2種）

		
前（口形：ゼン） 掌を前方に押し出す （手話→前・前方）	歯（口形：シ） 人差し指で、（歯）を指し示す	前歯（口形：ゼンシ） 片手甲を相手側に見せ、 一方の手で指さす

2. 臼歯（2種類）

		
臼（口形：キュウ） 片手掌頬の前方から後方に移動 （手話→後方・側方）	歯（口形：シ） 人差し指で、（歯）を指し示す	臼歯（口形：キュウシ） 片手グウの甲側を相手に見せ、 一方の手で指さす

● ● 理 事 会 報 告 ● ●

● ● 平成26年度第7回理事会報告 ● ●

■日 時：平成27年2月7日(土)

18：00～19：00

■場 所：北海道歯科技工士会館

1. 会長挨拶要旨

昨今の世相の乱れを危惧不安視され、その中において我々は次世代のために会務を一所懸命やらなければならない旨、挨拶があった。

2. 承認事項

- (1)第6回理事会議事録承認の件 ……………【承認】
 (2)事業及び派遣役員承認の件 ……………【承認】
 (3)講師依頼承認の件 ……………【承認】

3月28日苫小牧歯科技工士会研修会「平成26年度診療報酬の改定と先進医療の保険導入について」に戸島常務理事を派遣する。

3. 協議事項

- (1)平成27年度事業、予算（案）について
 次回理事会で報告、継続審議。

4. 報告事項

- (1)函館歯科技工士会「新年会」について
 (2)北海道歯科技工士会役員選挙について
 選挙告示についての説明があった。
 (3)優秀論文表彰について
 表彰内容について説明、各専門学校教諭に協力要請する。
 (4)北海道歯科技工士会館の休館について
 事務方一人のため、理事会開催翌週の月曜日を休館日とする旨、説明があった。
 (5)事業計画書等の提出について
 法人としての事業計画書及び事業の決算等についての留意点を説明があった。
 (6)平成27年度立ち入り検査について
 適正な法人運営の留意点について説明。
 (7)1月期の予算執行状況について
 (8)第59回北海道歯科技工学会大会について ……………【承認】
 第59回北海道歯科技工学会大会決算について詳細に報告。
 (9)第1回歯科技工用語手話研修会について
 研修会についての総括と感想を含め報告。
 (10)広報3号について
 ページレイアウトとコンテンツについて説明。
 (11)1月末組織現況について
 会員数564名との報告。
 (12)1月末入退会者について
 入会者2名との報告。
 (13)機関紙「LILAC」案(5)について
 掲載内容の概要を詳細に説明。

5. その他

- (1)日技理事会について
 「日本歯科医師会」役員改選に伴う選挙について報告。
 (2)日技（組織拡充支援金の給付対象拡充について）
 催事受講アンケートを日技に提出することにより支援金の還付を受けられたとの報告。
 (3)歯科技工士に関する制度推進議員連盟に対する支援について
 北海道保健福祉部からの北海道地域医療介護統合確保基金を活用して実施する平成27年度事業（医療分）のアイデア募集について説明。
 平成26年度歯科技工士養成所設備整備費補助金交付要綱について説明。
 制度推進議員連盟の働きにより今年4月1日から歯科技工士国家試験全国統一化と人事院規則医療職俸給表の改正が施行との報告。
 59回北海道歯科技工学会大会並びに平成26年度第1回北海道歯科技工技術研修会の参加状況表を報告。
 今年11月7日(土)に行われる会創立60周年記念大会について前回の55周年大会の資料を基に説明。各種表彰並びに表彰基準を前回と同容にする。……………【承認】

● ● 平成26年度第8回理事会報告 ● ●

■日 時：平成27年3月7日(土)

18：00～19：00

■場 所：北海道歯科技工士会館

1. 会長挨拶

4月から新たにこの業界に入ってくる学生たちの思いのもと、次の世代のためによりよい環境づくりをするように尽力していきたい旨、挨拶があった。

2. 承認事項

- (1)第7回理事会議事録承認の件 ……………【承認】
 (2)事業及び派遣役員承認の件 ……………【承認】
 (3)平成27年度事業計画書（案） ……………【承認】
 平成27年度事業計画書に沿って事業計画案の説明があり、一部日程・場所・講師等の修正をした。
 (4)平成27年度収支予算書（案） ……………【承認】
 収支予算書（案）について正味財産増減計算書内訳計算書に基づいて説明と、税理士事務所と協議して公益事業比率の確認も行った旨補足説明。公益認定基準を満たす予定であることを確認した。
 (5)後援名義使用 ……………【承認】
 第14回北海道口腔ケアセミナーの後援名義使用依頼。
 (6)第2回社員総会議事日程（案） ……………【承認】

3. 報告事項

- (1)職務執行状況報告
 2月13日金北海道医療・福祉関係職能団体懇談会出席、各歯科技工士

学校の卒業式に出席。道庁への事業計画等の提出があるので準備中である。

(2)法人管理に関する報告

2月末の組織現況ならびに2月期の予算執行状況は概ね良好である。

(3)生涯研修に関する報告

第143回北海道歯科技工学術研修会について決算報告書。

(4)その他の報告

①日技理事会報告

災害医療に対応する組織、3月21日(土)の全国実務者代表会議開催、歯科技工所の開設届出整備推進事業、生涯研修事業、歯科技工士法制定ならびに日本歯科技工士会創立60周年地域交流記念大会の福岡開催、1月30日の官報に告示された人事院規則の改正で、短大三卒・短大二卒・高卒が削除された。

②平成27年度 事業日程の追加と変更

5月30日(土)に各種表彰者会議を追加、1月9日(土)第6回理事会を23日(土)に、2月6日(土)第7回理事会を13日(土)に、3月5日(土)第8回理事会を12日(土)に変更した。

●● 平成27年度第1回理事会報告 ●●

■日 時：平成27年4月11日(土)

18:00～19:00

■場 所：北海道歯科技工士会館

1. 会長挨拶

この執行部で最後の5月9日の第2回社員総会をしっかりと運営して責任を果たしたい。また、道技会長として4期8年間の総括したい旨、挨拶があった。

2. 承認事項

- (1)事業及び派遣役員承認の件 【承認】
- (2)第2回社員総会議事日程(案)承認の件 【承認】
一部会議・時間等を修正。第2号議案「平成26年度会計収支決算承認の件」、当日は正味財産増減計算書を基に説明。報告事項平成27年度収支予算は正味財産増減内訳表を基に説明。会計収支決算、理事会資料に掲載している決算報告書を担当役員以外も詳細まで理解して、社員総会に向けて準備。第3号議案「理事および監事選任の件」は定数を超えなかったので投票とならず、選挙公示のとおり選任を提案し、立候補演説を行う旨の説明。協議事項(2)組織拡充は現状報告と試案について説明する旨報告。その他会議進行について確認。
- (3)第2回社員総会第4号議案承認の件 【承認】
役員選挙規程で役員(理事及び監事)の被選挙権を資格者会員と限定しているが、外部監事を選任しており齟齬があるので、役員選挙規程に追加し一部改正したい旨説明。道技役員就任と外部監事就任に一年のずれがあるため毎年登記と報告が必要である。
- (4)2015歯科技工ガイドンス(案)承認の件 【承認】
7月20日(月)札幌サンプラザにおいて講演Ⅰの講師 公益社団法人北海道歯科技工士会副会長(歯科技工士の役割)、講演Ⅱの講師 plusM(プラスエム)代表 長谷川久美子氏(就職に向けてのマナーと心構え)、講演Ⅲは昨年を踏まえ思案中で継続審議である。

3. 報告事項

(1)職務執行状況の報告

- ①3月17日(火)第3回北海道歯科技工士国家試験委員会に出席。
- ②北海道歯科技術専門学校、田医療歯科専門学校、札幌歯科学院専門学校の入学式に出席。
- ③3月21日(土)2014年度第1回全国実務代表者会議に出席。日技がナショナルセンターとして情報発信する会議で、日技からの情報を基に道技も道内各地域で講習会を開催していきたい。会議概要として歯科技工士国家試験の進捗状況、歯科技工士における医療職俸給表(二)初任給基準表の改定、社会保険歯科診療報酬等、歯科技工料の実態調査の活用例、歯科技工所開設届け出等整備推進事業の報告。
- ④教育研修推進事業助成金等(学術振興会費)給付について説明と第2回社員総会補助資料に掲載する旨、報告。
- ⑤3月28日(土)苫小牧歯科技工士会主催の研修会(平成26年度診療報酬改定の概要と先進医療の保健導入について)に戸島常務理事を講師として派遣。日技・道技の活動を会員に直接説明出来、非常に良かったとの報告。
- ⑥第2回社員総会資料の編集を行った旨報告、第2回社員総会資料を製本前にJ-MOTTOにて最終確認する旨説明。
- ⑦道庁へ「事業計画書等の提出」が完了したと報告。

(2)生涯研修に関する報告

- ①一般公開講座「市民フォーラム計画案」の提案があり、次期執行部に引き継ぐ旨報告。
- ②第2回社員総会で生涯研修修了証の授与式を行うため代表者を決定する旨、報告。

(3)広報に関する報告

(4)総務に関する報告

(5)財務に関する報告

- ①3月期の予算執行状況については平成26年度会計収支決算にて報告。
- ②会計監査について財務諸表、通帳管理等问题なしの報告。

(6)法規に関する報告

3月21日(土)公益社団法人北海道歯科技工士会役員選挙管理委員会において、かねて告示した役員選挙について理事12名、監事2名の立候補があり、選挙公示を日本歯技平成27年5月号に同封する旨、報告。

(7)就労対策に関する報告

- ①3月末の会員数(567名)の報告。
- ②「LILAC」の原稿を確認後、印刷段階に入る旨、報告があった。

(8)その他の報告

- ①扇専務理事から「平成27年度歯と口の健康週間」について実施要領の説明があった。
- ②(一社)北海道歯科医師会から第68回北海道歯科学術大会におけるDTテーブルクリニックでの発表者の依頼があり、J-MOTTOで発表者を募集する旨、報告。